

ヒューストン日本商工会・グレーターヒューストン日本人会共催 2015年ピクニック開催

毎年恒例の日本商工会・日本人会共催のピクニックを5月10日(日)にJones Creek Ranch で開催いたしました。

事前の予報では、天気が心配されておりましたが、当日は薄曇りが広がる、とても過ごしやすい気候となり、過去最多となる1,028人の方にお越しいただきました。参加者の皆様にはバーベキューやスポーツ等で懇親を深めていただき、また、今年度から新設しましたサックレースやゲームコーナーも多くの方々にお楽しみいただきました。サックレースについては記録更新を狙って二回・三回と挑戦される方もいらっしゃるなど熱戦が繰り広げられました。お子様向けバウンシングアトラクションや動物園についても人気で、走り回って楽しむ子供たちの笑顔がとても印象的でした。

午後の閉会式では、高岡総領事にご挨拶いただき、その後サックレースの年代別結果発表ならびに表彰式が行われました。また、昨年に引き続き補習校ソフトボール部によるチャリティオークションも実施されました。今年度はアメリカンリーグ西地区の首位を独走しているヒューストン・アストロズ5選手のサインボールが出品され、手に汗握る競り合いが行われました。オークションの収益は総額1,190ドルとなり、全額ヒューストン日本語補習校のソフトボール活動金に充てられます。

メインイベントとなりますラッフル抽選会につきましては、今年は例年を大きく上回る300点以上(事前抽選含む)の豪華賞品が用意され、抽選が引かれるたびに大きな歓声が上がリ、会場は大変な盛り上がりを見せました。

最後になりますが、幹事としてご尽力いただいた会員企業ならびに日本人会の皆様、当日の運営をお手伝い下さったボランティアの皆様、そしてラッフル抽選の賞品をご提供いただいた協賛者の皆様など、多くの方々から多大なるご協力を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

日本商工会 文化委員会



平成27(2015)年5月度 商工会常任委員会 議事録

日 時：平成27年5月21日(木)11:30～13:00

場 所：住友商事社 会議室(10階)

出席者：名誉会長、名誉会員、理事委員12名、正会員1名、事務局長

欠席者：理事委員9名(うち会長委任 8名 代理委任1名)

司 会：金子公亮幹事

1. 商工会会長連絡(鈴木一副会長：高杉禎会長代理)

ジャパンフェスティバル、ピクニックと大きなイベントが続いて開催され、いずれも記録的な人数の参加者を迎えて大変盛況であった。ボランティアとしてご参加いただいた皆様には日本のおもてなしの精神を体現していただき、子ども達にとっても思い出に残るイベントを安全に開催できたことに心より感謝申し上げます。昨年秋に始まった原油価格の下落による影響は出ているものの、閉会直前までチケットを買い続けたジャパンフェスティバル参加者の前向きなメンタリティーに反映されているように、アメリカの人口も増え続け、まだまだ経済が伸びる余地があるものと思われる。このようなイベントに参加した子ども達が、いずれ日本に戻ってグローバルな人材へと育っていくことを願っている。

2. 総領事館連絡

*岩田慎也領事より

安倍総理大臣の訪米に続き、経団連のミッションが3つのグループに分かれて米国を訪問する予定。岩沙団長(経団連審議委員会議長。三井不動産会長)率いるBグループは、総勢50名弱の大規模ミッションであり、6月28日にテキサス州を訪問する予定である。現在、スケジュールを調整中であり、商工会にもご協力をお願いする可能性があるのご報告させて頂く。

*高岡望総領事より

①安倍総理大臣の米国訪問により、TPPや防衛政策において日米関係の大きな進展があった。連邦議会上下両院合同会議での演説の中では、戦後70年の節目にあって、深い悔悟、先の大戦に対する痛切な反省、アジア諸国民に苦しみを与えたことに目を背けることはしないといった点を強調するとともに、いかに日米同盟がアジア太平洋地域、そして世界の平和と安定に貢献してきたかについて確認し、今後両国が手を携えて地域、世界への貢献を続けていくという強い意志を発信した。これに伴い当館も在米公館のひとつとして、このような平和国家としてのメッセージを機会あるごとに当地においても発信していきたいと考えている。

②4月18日、19日に開催されたジャパンフェスティバルは、日本人とヒューストン市民の絆を深める交流の場として大切な役割を果たし大成功であったことにお祝いの言葉を申し上げます。

③4月30日にホロコースト博物館主催で開催されたLyndon B. Johnson Moral Courage Award Dinnerにおいては、1,100名の参加者が集り、ユダヤ人の人命救助に貢献した故杉原千畝氏の遺族が授賞され、当時杉原氏によって救われ、現在ヒューストン在住のユダヤ人の方が感謝の意を述べられた。当地の日系関連企業も寄付による支援を行い、日本のプレゼンスをさらにアピールできる有意義な機会となった。ご協力いただいた関係各位には、この場を借りて感謝申し上げます。

3. 幹事報告(金子公亮幹事)

①常設委員会委員長の交代・任命について

白木秀明広報委員長(JOGMEC)のご帰任に伴い、後任の佐藤大地氏(同)が定款に則って鈴木副会長(高杉会長代理)より任命を受け、新広報委員長として就任した。

②部会長の交代・任命について

三宅望鉄鋼部会長(Nippon Steel & Sumitomo Metal U.S.A., Inc.)のご帰任に伴い、後任の幸田孝夫氏(同)が定款に則って黒川淳二企画・調査委員長より任命を受け、新鉄鋼部会長として就任した。

4. 会計幹事報告【承認事項】(加藤信之会計幹事)

*Japan Earthquake Relief Fundについて

2011年に東日本大震災の被災者支援のために在ヒューストンの日系関連4団体がJapan Community Coalition of Houston(「JCCH」)を組織し、各団体が集めた義援金は、在ヒューストン日本総領事館の銀行口座を通じ、日本赤十字社へ送られた。当会では義援金の受付、また管理のための口座として開設した当Fundより、2011年5月6日、総領事館に対して義援金100,243.42ドルのチェックを送付している。しかし、2012年12月を最後に新たな義援金の受領はない状況が続いているため、2015年5月末をもってJapan Earthquake Relief Fundの口座を閉鎖し、残高64,803.78ドルを日本赤十字社に送金することを過半数の票をもって承認した。

5. 六者交流会関連報告(猿川秀正会員：本多之仁第一副会長代理)

11月6日(金)、7日(土)に予定されている当地開催の六者交流会の現時点での支出見積りは、29,105ドルとなっており、6年前のヒューストン開催時に比べ近い額となっている。その主な理由は、スペースセンター見学にかかる費用(バ

ス代や講演会会場費、トラムツアー代等)によるものである。参加費の単価を140ドル程度に止めるために、商工会の予算より6,000ドルを拠出要請することを検討している。近日中に総領事と各都市の会長宛に事前案内を出し、アンケート調査の結果を見てさらに予算の調整を行っていく予定。尚、講演会は、JAXA職員を講師として迎え、宇宙飛行士の参加は不可となった。また、懇親会の賞品として、ユナイテッド航空より航空券の寄付を頂く予定である。

6. 2015年ジャパンフェスティバル結果報告(鈴木一副会長)

開催前夜には市内に大雨、雷の警報が出るなど天気が大きく荒れたものの、当日の4月18日(土)、19日(日)は天候にも恵まれ、記録的な参加者を迎えて成功裏にフェスティバルを無事終了した。皆様のボランティアとスポンサーシップによるご支援に感謝申し上げます。おかげで商工会担当の「キッズ緑日」ブースは滞りなく運営でき、合計7,056人のお客様にご来場頂き、過去最高の売上げ11,192チケットを記録した。日本人会運営ブースからの収益と合算し、6,641ドルの収益金は、ジャパンフェスティバルの運営主体であるThe Japanese Festival of Houston, Inc.に寄付した。今後、同法人はさらに大きなスポンサーを募って運営していく方針を検討しており、商工会も寄付増額を要請されている。今までは草の根の慈善活動として手作りであった同フェスティバルが、今後同法人によって組織化されていくに伴い、意識のズレが出てきていることを今後の課題として挙げたい。

7. 第二回宇宙セミナー結果報告(酒井純一対外交流特命理事)

5月16日(土)に補習校授業終了後、オーディトリウムにて金井宇宙飛行士の講演会を開催し、309名が参加した。金井氏は医師免許を持つ宇宙飛行士として、「宇宙医学教室～宇宙飛行と体の変化～」というテーマでスライドを主体としたプレゼンテーションを行った。最後の質問コーナーでは、講義内容に基づく質問から内容を離れた質問まで次々と質問が飛び出し、全ての質問に答えることができないほど盛り上がった。

8. 正団体会員申請について【承認事項】(金子公亮幹事)

全会一致により、下記の正団体会員一人の入会が承認された。

*All Nippon Airways Co., Ltd.

9. 委員会・部会関連事項

①スポーツ委員会(平田一成エネルギー部会長：薙野太一副会長兼スポーツ委員長代理)

*第551回テキサス州「総領事杯」結果報告

4月26日(日)にThe Clubs of Kingwoodにて「総領事杯」が開催され、71名という多数の参加者があった。表彰式にお越しくださった高岡総領事、ご協力くださった幹事企業のボランティアの皆様、また賞品をご寄付下さった28団体の皆様にも感謝申し上げます。参加費合計は、6,465ドルで、支出合計は6,137.05ドルであった(総領事館より払い戻し予定のトロフィー代70ドルを除く)。前回の繰越金(619.80ドル)と合わせて収支(次回繰越金)は、947.75ドルとなり、次の幹事担当の鉄鋼部会へ引き継ぎ予定。

②文化委員会(藤井一彦文化委員長)

*商工会・日本人会共催ピクニック結果報告

5月10日(日)にJones Creek Ranch Parkにて毎年恒例となっているピクニックを開催し、入場者のカウントは過去最高の1,028名を記録した(昨年度は838名)。ラッフルの売り上げは事前と当日を合わせ計8,884ドルとなり、300点以上の賞品が用意されて抽選会は大きく盛り上がった。支出に関してはRanchの運営が変わったことにより、各種のアクティビティやセキュリティガードの手配など個別にアレンジ、契約の必要があったが、支出額合計を7,648ドルに収めることができ黒字となった。新設したサックレースや子供向けゲームコーナーなどのアクティビティには多くの方々に参加いただいた。昨年同様、チャリティーオークションも行われ、1,190ドルの収益金は子供たちのソフトボールチームの運営のために寄付された。総領事には閉会式にてご挨拶をいただき、感謝申し上げます。尚、開催日を引き続き「母の日」とするかどうかについては女性会員より反対意見もあり、今後の課題として次の幹事役に引き継ぎたい。

③企画・調査委員会(黒川淳二企画・調査委員長)

*4月の定期講演会結果報告

4月15日(水)、常任委員会終了後にUnited Way Community Resource Centerにて講演会を開催した。講師にユナイテッド航空の井川啓子氏と赤松俊之氏をお迎えし、「航空業界の動向およびマイル리지プログラム利用による賢い経費削減術」という二本立てのテーマでお話いただき、41名の参加者には関心を持って聞いていただいた。次回の定例講演会は8月26日の常任委員会後にAsia Society Texas Centerにて開催を予定しており、講演会のテーマについては只今検討中である。

④生活・情報委員会(大内裕子生活・情報委員長)

*古本市結果報告

5月2日(土)、「絵本読み聞かせの会」のメンバーがボランティアの中心となり、三水会センターの会議室において古本市が開催され、大盛況であった。収益は1,110ドル、募金は37ドルであった。収益金は、前回同様すべて子供向けの本を購入するために使う。「ヒューストンなび」を通して同センターの会議室ではなくホールにて開催を希望する声もあったが、限られたボランティアの人数でより安全で効率的に行うためには、今後も引き続き会議室においての開催とする予定。

***図書棚卸について**

6月2日(火)から13日(土)まで三水会センター図書館の棚卸作業を行う予定。棚卸作業期間中は返却のみ通常通り受付ける。返却予定の皆様には延滞金の支払いが発生しないよう十分ご注意ください。作業期間中の貸出・閲覧は休止するので予めご了承ください。なお、商工会・補習校事務局は作業期間中も通常通り業務を行う。

10. 事務局関連事項 (小林浩子事務局長)

***会員消息**

5月21日現在の会員数は、名誉会員9名、正個人会員658名(正団体会員102社)、準会員36名。総会員数は、703名。詳細については、別紙「会員消息」参照。

ピクニック写真集



グレーターヒューストン 日本人会

5月10日、Jones Creek County Park (旧称Gordon Ranch)にて、商工会・日本人会共催での母の日恒例のピクニックが開催されました。当日は最高のピクニック日和で、参加者は全体で約1,000人と、昨年の800人の最多記録を大幅に更新しました。日本人会グループでは、サポート企業・団体をはじめ多くの方々にお声がけをし、高岡総領事ご夫妻、JAXA(宇宙航空研究開発機構)、岩谷産業株式会社、JETRO(日本貿易振興機構)、ANA、医療グループの皆様にもご参加頂き、100名を超える大所帯となりました。

本年度は、本部席パビリオンの一部をお借りし、リブアイステーキのバーベキューや焼きそば、豚汁、日本人会イベントでは恒例となっている岩谷産業のたこ焼きコンロでの「本場大阪風たこ焼き」、武智和代さんのネギ塩チキン&つくね等を提供。全て大好評でした。お食事が終わったころには、ピクニック参加者の皆様へ綿菓子を無料配布。今年は綿菓子機を本部席の真横に設置できたお陰か順番を待つ子どもたちの長い行列が絶えず、製造係のボランティアに奮闘していただきました。

そして、高岡総領事のご挨拶で始まった午後の部では、ラッフル抽選と今季絶好調のヒューストンアストロズの選手5名のサインボールのオークションが行われ、大きな盛り上がりのうちに閉会を迎えました。

最後に、事前準備および当日早朝から会場や食事の準備に奔走してくださったボランティアの皆様、リブアイステーキを特別価格でご提供くださったKubo's様、会場を盛り上げてくださった参加者の皆様に改めて御礼申し上げます。

日本人会幹事長

八木 謙一





ホロコースト博物館主催

リンドン・B・ジョンソン 道徳的勇気賞授与

夕食会の開催

4月30日(木)、ヒューストン・ホロコースト博物館主催晩餐会において2015年リンドン・B・ジョンソン道徳的勇気賞が故杉原千畝氏に授与されました。この賞は、第二次世界大戦中にテキサス州連邦下院議員としてヨーロッパから逃れてきたユダヤ人の保護に尽力したジョンソン大統領を冠し、並外れた道徳的勇気を示し、偏見と戦った個人に対し、毎年授与されるものです。本年は、1940年に在リニア領事代理としてカウナスに駐在していた故杉原千畝氏と、1938年にウィーンに中国総領事として駐在していた故何鳳山氏に同賞が授与され、両氏の家族が代理としてヒューストンに招かれました。また、高岡総領事と李中国総領事が名誉開催共同委員長を務めました。

杉原氏は、第二次世界大戦中、リニア駐在中の短い間にナチス・ドイツから逃れてきたユダヤ人に日本通過のための「命のビザ」を約2千件発給し、約6千人のユダヤ人難民をホロコーストから救いました。命を救われた人は、子孫を含め、現在十万人に及ぶと言われています。

授賞式では、杉原氏に救われ、現在ヒューストン在住のエディス・ハマー氏がビデオ出演し、杉原氏のビザがなかったら、自分も自分の子も自分の孫もこの世にはいないと深い感謝の意を表しました。その後、千畝氏の長男夫人の杉原美智氏、孫の杉原まどか氏、ひ孫の杉原織葉氏が高岡総領事とともに壇上に上り、総立ちとなった1,100名の聴衆より拍手喝采を受けました。

高岡総領事は、挨拶において杉原氏の勇気ある人道的行為に対して敬意を表し、訪米中の安倍総理がワシントンDCのホロコースト記念博物館を訪れ、杉原氏の善意の勇気を風化させず、記憶にとどめる決意を新たにされたことに言及しました。



そして、高岡総領事から杉原美智氏に賞が授与され、杉原まどか氏が挨拶しました。杉原まどか氏は、祖父は生前にリニアの出来事について黙して語らなかつたものの、1985年に「諸国民の正義の賞」を受賞した際には、助けを必要としていた人々のために人間として正しいことをしただけだと発言したことを紹介しました。また、本件受賞に感謝し、上述の訪問の際、安倍総理が「一人の勇気ある行動が何千という尊い命を救うことができました」と千畝氏の行動を称えたことに言及し、祖父の献身的行動が日本で、そして世界で称賛されていることを誇りに思うと述べました。

2015

Lyndon Baines Johnson
Moral Courage Award



<写真上>

左より、高岡総領事、Segev Zadok氏、Helene ZadokヒューストンAJC元会長、杉原美智氏、杉原織葉氏、杉原まどか氏

Holocaust Museum Houston

補習校小学部6年生 ホロコースト博物館見学記

5月2日(土)、補習校小学部6年生36名が、6年生担任の岡崎先生と私の引率で、ヒューストンのダウンタウンにあるホロコースト博物館を見学しました。

戦後70年を迎える今年、ホロコースト博物館では『The Art of Gaman(我慢の芸術)』と題した特設展示を開催しています。第二次世界大戦中、当時アメリカに在住していた日本人移民と日系人に対して、強制収容所への移動が発令されました。その結果、約12万人もの日本人の血を引く人たちが、着の身着のまま不毛の土地に作られた強制収容所に送られ、約5年に亘る不自由な生活を強いられました。それにもかかわらず、この間そこで暮らしていた日系人たちは、いろいろな廃材を使って絵画や彫刻などの芸術作品を作りました。この特設展示では、苦境にもくじけず、廃材の中にさえ美を見出す当時の日本人の誇りや気構えを、数々の作品の中に見出すことができます。これを、ひとりでも多くの日本人に見てもらいたいと、高岡総領事からご提案いただき、今回の運びとなりました。

見学に臨み、前週にオリエンテーションを行い、この時代の背景や今回の見学の意義について説明しました。以前、この博物館に行ったことのある子どもも何人かいましたが、日系人収容所についてはほとんど知られておらず、子ども達は大いに興味をそそられた様

ヒューストンバレエ 祝賀レセプション



写真中央ブルーのドレスが鍛冶屋百合子さん、後列右から5番目がチャールズ吉山君

先日5月13日水曜日夜、アジアセンターに於いてヒューストンバレエとアジア協会共催のレセプションが行われました。

当日は高岡総領事ご夫妻にもご列席を賜り、日本人コミュニティー、ヒューストンバレエ、アジア協会、各関係者の皆様約100名が出席されました。このレセプションではヒューストンバレエ初の日本人プリンシパルとなる鍛冶屋百合子さんの昇進と、チャールズ吉山君のファーストソリストへの昇進、それぞれのお祝いと、6月27日と28日にアジアセンターで初公開されるソリスト楠崎なおさんが初めてプロデュースし主演する作品“Tsuru”の紹介が行われました。私達になじみ深い夕鶴を題材としており、アジア協会とヒューストンバレエ共催の作品です。

現在ヒューストンバレエは団員56名のうち、日本人ダンサーが7人も活躍しているアメリカでも珍しいバレエカンパニーです。

先シーズンニューヨークの名門アメリカンバレエシアターから移籍してきた鍛冶屋百合子さんが新しくヒューストンバレエのプリンシパルとして素晴らしい踊りを披露しています。ヒューストンバレエの専属アカデミー時代から活躍中のチャールズ吉山君もファーストソリストに昇格し、来シーズンにはもう1人日本人男性ダンサーが入団予定です。

来シーズンからの更なる日本人ダンサー達の活躍を願う皆の応援に包まれた温かい雰囲気の中での華やかなレセプションでした。



子でした。

当日は、日系米国人市民連盟からゲイリー・中村さんとディビッド・ボナーさんも参加して下さいました。子供たちは、英語グループと、中村さんが通訳としてついた日本語グループの二手に分かれました。英語グループは、まず常設のホロコースト展示室に入り、日本語グループは、特別展示室に向かいました。博物館の中に入る前は、めったにない外出に遠足気分が盛り上がっていた子ども達でしたが、博物館の中に入ると神妙に口をつぐみ表情を引き締めました。

日本語グループは、特別展示室の入り口で、まず、案内のダニエル・ボーグルさんから展示についての英語での簡単な説明を聞きました。続いて中村さんが、実際にこの収容所で生活した経験を持つお父さんの話を交えながら、収容所についての話を日本語でして下さいました。話の後は自由見学となり、見学後のレポートに備えて中村さんに

質問したり、説明を読みながらメモを取るなど、各自で活動を行いました。その後、常設展示室に移動し、たくさんの写真や遺品を前に、子どもたちはボーグルさんの説明に真剣に聞き入っていました。

英語グループは、常設展示を主に見学しました。案内のラッセル・ウェイルさんの質問に子ども達は積極的に答え、その関心の高さと集中力はウェイルさんを大いに感心させました。

博物館では、土曜日の通常開館時間が12時のところ、補習校児童のために10時半に開館して下さいました。丁寧で熱のこもった案内と、この特別なご配慮に改めて感謝いたします。また、休日にもかかわらず、子ども達のために見学にご参加下さった中村さんとボナーさんにも大変感謝しております。

第二次大戦中アメリカ国内で、敵国人であるという理由で、このような収容所で生活させられたのは日本人だけでした。ドイツ人やイタリア人は自由を束縛されなかったのに、日本人だけがこのような目に遭ったのは、アメリカの憲法に違反しているとして、収容所に入れられた日本人に対し、1988年、当時のレーガン大統領によって損害賠償が行われ、1992年には、ジョージ・W・ブッシュ大統領からも、国としての謝罪が行われました。今実際にアメリカに住む日本人として、今回の博物館見学から学んだ歴史は、子ども達の心に何を残したでしょうか。それが何であれ、これからの人生を人間として、そして日本人として、よりよく生きていく糧となることを願います。

(文責: 補習校小学部6年生担任 佐藤暁子)

ワン! ダブル ヒューストン



最終回

川原志津香 (家庭犬しつけインストラクター)

Vol. 27 ありがとうヒューストン

夫の転勤に伴いヒューストンに暮らすことになり、我が家の犬2頭と一緒にヒューストンに降り立ったのがつい先日のように思われますが、気がつけば5年近く経過していました。いつかはと覚悟していましたが、夫の帰任が決まり、2015年4月28日に日本に帰国致しました。最終回となる今回は、我が家の愛犬ヒューゴの帰国手続きについて紹介します。

日本に犬を連れて帰る際の準備については、すでに連載第2回目(2011年1月号)で紹介した通りです。実際の帰国準備は、成田空港の動物検疫所にどのようなタイミングで届出を出すか確認をすることから始まりました。

犬を連れて帰国する際に必要な手続きの中で一番時間を要するのは、狂犬病抗体価検査とその後の国外待機期間ですが、急な帰国にも対応できるように、我が家では常に有効な検査結果を手元に置いていました。次にタイミングが重要な手続きは、帰国40日前の動物検疫所への届出です。動物検疫所に「4月下旬から5月上旬に犬を連れて帰国する」と相談をしたところ、できるだけ早く届出書(狂犬病予防法及び家畜伝染病予防法に基づく犬の輸入に関する届出書)を提出するようアドバイスを受けました。まだフライトを手配する前でしたが、その時点から40日後位の日程と便名を記載して届出を提出し、受理書(動物の輸入に関する届出受理書)を受け取りました。帰国日や便名が確定した後、改めて変更届を提出しました。

次に悩んだのは、「携行品」として輸送するのか、「貨物」として輸送するのかでした。「携行品」としての輸送は、(1)小型犬を機内持ち込みで輸送する場合や、(2)機内持ち込みできない大きさの犬をスーツケースのように預かり手荷物として預ける場合の輸送形態です。日本到着後の手続きに要する時間も「携行品」は30分程度で終わることが多いのに比べて、「貨物」は航空会社窓口、動物検疫所、通関などで3時間程度かかることが多いので、明らかに「貨物」の方が大変です。ところがヒューストンから東京への直行便を運行しているユナイテッド航空は、(1)以外の犬はすべて貨物として輸送しています。直行便を利用して「貨物」として輸送するか、他の航空会社の経由便を利用して「携行品」として輸送するか迷いましたが、乗り継ぎ便の遅延や機材の変更の心配がなく、一度飛行機に積み込まれたら確実に日本に到着できる直行便を選び、「貨物」として輸送することにしました。

輸送形態について決めた後は、航空会社のペット輸送に関するルールを確認します。ユナイテッド航空の国際輸送の場合、クレート(プラスチック製の移送用のハウス)の高さは、四つ足で立っている犬の最も高い部分から3インチ(7cm)のゆとりが必要です。我が家のヒューゴは背が高い上に立ち耳なので、耳の上7cmというと、市販では最も大きいジャイアントサイズと呼ばれるものでないと輸送できないことが分かり、急ぎこれを購入しました。

私たちのフライトの手配をするときに犬の輸送の件も伝えると、別途貨物輸送の予約をするようにと言われ、Pet Safeというユナイテッド航空のペット輸送窓口で電話をして予約をしました。クレートと犬の総重量を伝え、おおよその輸送料を聞き、必要な書類を確認して、フライトの準備は完了です。

最後の手続きは、日本の動物検疫に必要な書類の作成です。日本の動物検疫所が推奨するForm AとForm Cという様式を作成し、USDA (United States Department of Agriculture)の認定を受けている獣医師に署名してもらい、オースティンにあるUSDAのオフィスに狂犬病ワクチンの記録や狂犬病抗体価検査結果と共に送付します。返信用のラベルのついた封筒を同封しておき、裏書きした書類が返送されて来れば、帰国のための書類の準備は完了です。念のため、オースティンのUSDAオフィスに送付する

ワン! ダブルは筆者の日本へのご帰国に伴い、今月号が最終回となります。ガルフストリーム2010年11月号に第一回としてご自身の渡米時のご経験をご披露頂きましたが、以来愛犬と過ごすテキサスライフのヒントを様々な角度からご紹介下さいました。川原さまの4年半にわたるご寄稿に感謝申し上げますとともに、今後日本での更なるご活躍を祈念いたします。(編集委員会)

前に日本の動物検疫所にメールで書類を送って内容に不備がないかを確認し、またオースティンから返送された裏書き済み書類も確認してもらいました。

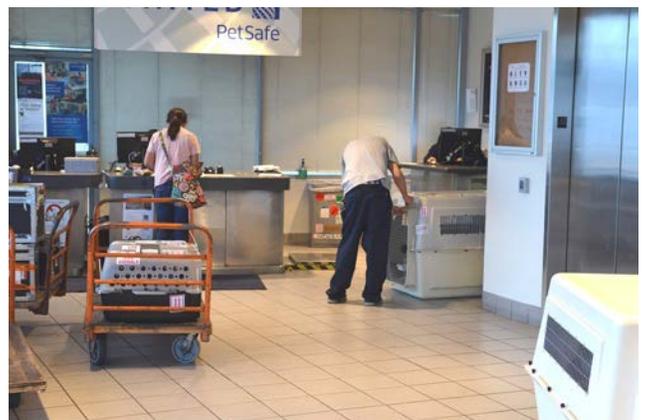
この最後の書類作成は、USDAの裏書きが10日間しか有効ではないため、もう少しで帰国という時期に行くことになります。念には念を入れて準備を進めましたが、ひやりとしたこともあり、まず、航空会社に提示するためにこれが必要と動物病院から指摘を受けてUSDA様式健康診断書を依頼していたところ、オースティンのUSDAオフィスに送る直前に書類を受け取ってみると飼主の住所、犬の種類、ワクチン記録など記入ミスが数カ所あり、急ぎ訂正してもらうことになりました。さらにUSDAオフィスに事前に確認した通り、書類を持参するのではなくFedEx



4月20日、出発1週間前のホームドクターによる健康診断。

で送ろうとしたところ、当日FedExのシステムがダウンしていてクレジットカードを受け付けず、返信用のラベルが作れないという事態が発生しました。大慌てでUSDAオフィスに相談し、UPSから送付することになりました。また、動物病院に作成してもらったUSDA書式の健康診断書に本来は裏書きがないと有効ではないはずなのが、裏書きがないまま返信されて来たのも焦りました。結果的には日本に帰国するために必要なForm AとForm Cに裏書きがあるので特に問題ないと空港の窓口の担当者に言われたものの、やはり今後手続きをなさる方は、裏書きなく返送されて来た場合はUSDAオフィスに問い合わせをしておくと思えます。

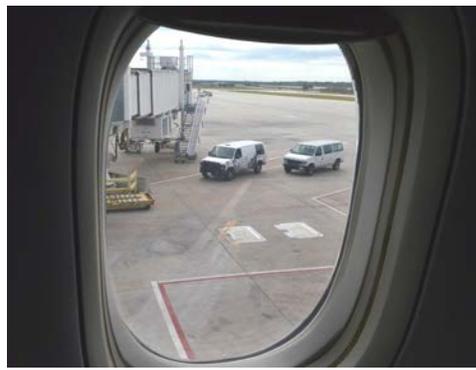
書類を全て整え、成田の動物検疫所からも「Formを確認しました。問題ございませんので、ご安心ください。」と心強いコメントを頂いて帰国日を迎えました。前日発令されたトルネード警報のために飛行機が飛ばなかったらまた手続きはやり直しかと最後まで落ち着きませんでしたが、当日は天候も回復しました。飛行機の離陸時間の3時間以上前の朝7



出発当日、貨物エリアでチェックインの様子。



貨物エリアの担当者が、クレートの中につけたトレイに氷を入れてくれます。



飛行機の中から、Pet Safeの車が確認できました。フライトアテンダントの方に犬も積み込まれたと確認をもらい、一安心。



成田空港の貨物エリアでヒューゴのクレートを発見。室内に置いておいてもらえると思いきや…。



時半頃ヒューゴと別れて貨物エリアを出ました。13時間半のフライトの後、成田空港に到着。貨物エリアに迎えに行くと、ぽつんとクレートが置いてあり、一瞬どきりしましたが、クレートの中にいるヒューゴの無事を確認できたときには本当に安心しました。動物検疫、通関などの手続きを済ませて夕方6時過ぎに晴れて自由の身となりました。ヒューストンでのチェックイン時から20時間半経過していました。

5年ぶりの日本の景色をヒューゴはどう眺めるのでしょうか？ヒューストンでの5年間を満喫したように、これからは、ワン!ダフルな東京ライフを楽しんで参りたいと思います。27回に亘る「ワン!ダフル ヒューストン」の連載を支えてくださったガルフストリーム編集部の皆様と、ご愛読くださった読者の皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました!



ヒューストンでのチェックインから20時間半後、無事に自由の身になりました。



◎成田空港動物検疫所のメールアドレス

第1ターミナルに到着する航空会社で犬を輸送する場合
動物検疫所 成田支所
旅具検査第1課
na-k1@aq.s.maff.go.jp

貨物として犬を輸送する場合
動物検疫所 成田支所
貨物検査課
n-kamotu@aq.s.maff.go.jp

◎ USDA様式の健康診断書

<http://www.aphis.usda.gov/library/forms/pdf/APHIS7001.pdf>

◎ ユナイテッド航空のペットの輸送用のクレートに関するルール

<http://www.united.com/web/en-US/content/travel/animals/kennel.aspx>

◎ ガルフストリーム2011年1月号8ページ

ワン!ダフル ヒューストン
Vol.2 帰国に備えて暮らす
<http://www.jbahouston.org/gs/Jan11.pdf>

ヒューストン日本商工会 会社紹介

CBRE, Inc.

酒井 健司 さん



1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

CBRE社は、事業用不動産に関するサービスを提供しております。1906年にサンフランシスコで創業し、世界64か国、56,000名の社員(全米28,000名、ヒューストンエリア1,000名)で事業を展開、業界で唯一Fortune500に選ばれております。企業が使用するオフィス、倉庫、工場といった事業用不動産に関し、不動産仲介、鑑定、物件管理、立地選定のコンサルティング、運営コストの適正化、プロジェクトマネジメント、ファシリティマネジメントといった分野で様々なサービスを提供しております。日本との商習慣の違いを埋めるため、また、守秘義務性の高い案件などをサポートするため等、日本語でのサービスも行っております。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

アメリカ南部での人口増加、工場進出が顕著になってきた近年はテキサスの様々な都市を訪れることが頻繁になってきましたが、いつもそのスケールの大きさに驚かされています。特にこの数年のヒューストンは、建築ラッシュ(2014年は新築着工面積で全米No.1)で、都市圏の規模がますます大きくなった気がします。そのため、交通渋滞がひどいのが悩みの種であり、個

人的にはダラスへの高速鉄道ができることを心待ちにしています。州政府関係者とよくお会いするのですが、企業誘致に非常に熱心ですね。ヒューストンに限らず、テキサス全体的に企業が集積してきている一因かも知れません。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

私事ですが、在米14年になります。全米各地のローカル社員とプロジェクトを組んで仕事をする事が多いですが、テキサスの人は人柄が良く気持ちよく仕事ができる事が多いですね。テキサスの他、カリフォルニア、ニューヨーク、イリノイ、ワシントン、オレゴン州などで仕事をする事が多いですが、ローカルの方の気質だけでなく、建物・食事などそれぞれの土地柄の違いを楽しんでいます。旅行が好きなので私には楽しい出張になっています。(おかげで、家族からは、出張=遊びに行くと思われていますが・・・)

北海道出身のため、テキサスではスキーができないこと、正直、夏の酷暑は堪えますね。スポーツで汗を流すのが好きなので、今度、ヒューストンの街並みを楽しみながら走れる10キロ程度の市民マラソンを探してみたいと思っています。

夏の大气汚染について

Center for Allergy and Asthma of Texas
 米国アレルギー免疫専門医
 小川リール好子

6月を迎え、いよいよ夏の到来を思わせるような気候になって参りました。雷雨、大雨や洪水などもみられますが、皆様ご無事でしょうか。これから益々気温が上昇してきますが、そうなる気になるのがオゾンやすすのような微粒子による大気汚染です。

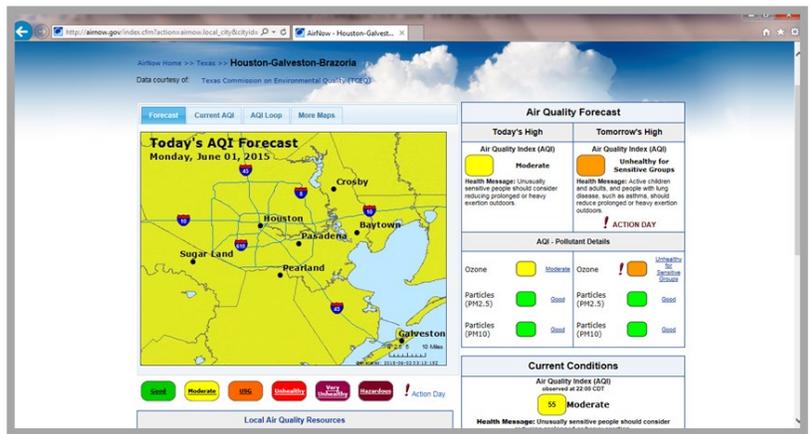
1. オゾンとは

オゾンはO3とも表記されますが、3つの酸素分子から構成されます。スモッグとも呼ばれます。冬でも排気ガスなどで大気は汚染されているのですが、強い紫外線と反応を起こすことでオゾンが生成されやすくなります。オゾンは大気圏の上の方では地球を紫外線から守ってくれるのですが、地上近くに存在すると鼻口腔や上気道を直接刺激し、ダメージを引き起こします。

2. すず(微粒子汚染物質)とは

車や工場、建築現場、掘削場、農業地などでは大きい粒子の汚染物質とともに、非常に小さい微粒子も生成されます。特に微粒子が鼻や口から吸い込まれると、身体が元来備えているバリアをすり抜けて、直接上気道の粘膜を刺激してしまいます。

アメリカ呼吸器学会のstateoftheair.orgというウェブサイトでは、アメリカ各地域の大気汚染レベルを調べること



ができます。ヒューストンはどうか、とハリスカウティを調べてみると、、、オゾンはF判定、微粒子汚染物質はA判定でPASSでした。やはり太陽光線が強くなると特にオゾンの生成がすすむことが懸念されます。近隣の9つのカウティいずれも同様の判定でした。また同名のアプリも存在し、iPhoneなどにダウンロードできますが、オゾンや微粒子物質の現在の状況や予報、また注意報なども知らせてくれます。こういった化学物質で影響を特に受けやすいのは、小児、65歳以上の高齢者、喘息等の呼吸器疾患患者さんに加え、糖尿病や心疾患を患われている方にも短期・長期の影響を与え、寿命を短縮することがわかっています。こういった方々は特に、交通量の多い外での運動を控えたり、夏の大气汚染のひどい日は屋外での活動を避けたり(芝刈り機の使用を控えるなど)ことが重要になります。またテキサス州環境委員会Texas Commission of Environmental Qualityのウェブサイト<http://www.tceq.texas.gov/>にもオゾンや微粒子汚染物質の情報が日々更新されておりますので、どうぞご覧になってみてください。

2か月ほど先に赴任した主人に続き、私と子供達は2013年8月にヒューストンにやってきました。学生時代から何度も来たアメリカではありますが、テキサスは初。家、道路、お店、その全てのスケールの大きさに圧倒されると共にとてもわくわくしたのを覚えています。運転が苦手でなかったこともこの地で暮らしていくのに適していたのでしょうか、到着して数日後から早くもレンタカー(!)で子供達を連れ、近所をウロウロ。

家でじっとしているのが苦手な私は車であちこち出かけました。Google Mapのナビがあればどこにでも行ける。いい時代に駐在に来たと思います。日本の家族や友人ともSkypeやLineでいつでも連絡が取れるし、Facebookで近況も知れる。「ホームシックになったことがない」と話したらこちらのお友達に驚かれた事がありますが、そんな現代のツールに助けられているのかもしれない。

どうせ期間限定で住むなら新しく広い戸建てがよいと探したのはKatyの西のはずれの新築住宅地。キダーから入学した娘の小学校は日本人がゼロ!今思えば親子共々相当タフな環境だったと思います。しかし完全に英語だけの環境で泣き言も言わずに学校に通った娘の英語力は飛躍的に伸びました。私も様々な学校行事や持ち物など、文化の違いで「?」な事だらけ。その度にお迎えと一緒にいるお母さん達を捕まえては質問の日々。何度日本語が世界の共通語ならいいと思ったことか!



駐妻のヒューストン日記

第129回 上野 麻由美さん

5歳の息子が渡米当初(当時3歳)からダイケアにお世話になっています。こちらは娘と違い登園当初は泣く、泣く!母子分離が初めてなうえに皆英語を話すので無理ありません。担任の先生の提案で「座って」や「お昼寝」など基本的な指示をローマ字にした張り紙を作り、教室に張ってもらいました。これが役に立っていたかは謎ですが、1か月も経つ頃にはだいぶ慣れ、現在は英語交じりの怪しい日本語を話すようになってしまいました(笑)

駐在中の楽しみはやはり旅行。最初の長期旅行は子供が喜ぶディズニーワールドに行きましたが、次のサンフランシスコ旅行時に立ち寄ったヨセミテ国立公園でそのスケールに感動。すっかり国立公

園ファンとなってしまいました。ホワイトサンズ、カールスバッドへのロードトリップに続き、昨年のサンクスギビングにはセドナ、モニュメントバレー、アンテロープキャニオン、グランドキャニオン、デスバレーを車で巡る旅へ。そのどれもが素晴らしく、記憶に残る旅となりました。全走行距離4000マイルを「景色がどんどん変わるから楽しい」と一人で運転した主人もあつぱれです。

渡米当初は色々なお店発掘に出歩いてばかりでしたが、日本人のお友達ができ始めると誰かの家に集まっては何かを作ったり、ただひたすらおしゃべりしたりする事も増えました。もともとアクセサリ作りが好きだった事から始まったKaty手芸部(?)はいまや洋裁やカードメイキングなどどんどん活動範囲を広げています。慣れない海外暮らしで頼りになる日本人のママ仲間。今年の春休みには、母子総勢13人でGrapevineまでの一泊旅行にも行きました。共に異国での様々な経験を乗り越えた駐在時代の絆は、帰国してからもいつまでも続くことでしょう。

日本を出発するときに、仲のいいお友達から「ロングバケーションだと思って楽しんできてね!」と言われた言葉がずっと心に響いています。ホームシックにならないのもずっとバケーション中だからかもしれません(笑)なんともおめでたい感じですが、こんな経験はそうそうできるものではありません。家族全員で期間限定の駐在ライフを思い切り楽しみたいと思います。



第128回

腫瘍内科の役割

広島市民病院腫瘍内科 広島大学原爆放射線医科学研究所
(現 MD Anderson 乳腺腫瘍科 postdoctoral fellow)

河野美保



初めまして。広島から参りました河野美保と申します。2014年の10月末より、MD Andersonがんセンターの乳腺腫瘍科で臨床研究を行っております。平成17年に大阪市立大学を卒業後、地元広島で、血液内科医・腫瘍内科医として広島市民病院や広島大学病院にて診療を行っておりました。

このたびは投稿の機会を頂き誠にありがとうございます。今回は、日本の腫瘍内科の役割についてお話させていただきます。

1. 日本の腫瘍内科

私の所属する腫瘍内科は臨床腫瘍科ともいわれ、化学療法を中心に癌の診断、治療を行っております。

腫瘍内科は1960年頃より米国で発展し確立された科ですが、日本では比較的新しい科です。化学療法ならびに癌患者さんのトータルコーディネートを行うことの重要性に目が向けられるようになり、日本臨床腫瘍学会が発足したのが2002年のことです。そして、グローバルスタンダードの腫瘍内科専門医を育成することを目的として、2005年よりがん薬物療法専門医制度が開始されましたが、腫瘍内科学、臨床腫瘍学をリードする専門医の数はいまだ不十分で、現在各県、各大学で、腫瘍専門医の育成が急がれています。しかし大学の講座で臨床腫瘍学が充実しているところは少なく、大学在学中に臨床腫瘍内科学に関する教育を充実させるにはまだ時間を要する現状です。私たちのような腫瘍内科の若手といわれる世代は、先輩の先生方が一から切り開いて来られた環境を基盤とし、腫瘍専門医としてのキャリアプランを確立し、同志を増やし、腫瘍内科に興味のある後輩の先生方を教育していくことを求められています。

2. 腫瘍内科医としての仕事

化学療法のスペシャリストとして育つためには、内科全般の訓練を行った後に、血液腫瘍を含め、各固形腫瘍の知識が必要になります。

化学療法には副作用の出現が必至であり、副作用が生じるとその度合いによって、治療の延期や減量、重篤な場合には治療の変更、中止を余儀なくされる場合があります。これは患者さんにとってはデメリットとなります。副作用を未然に防ぐ、または現れた副作用に早急に対応し、いかに

予定していた治療を完遂するかが治療効果に関わってきます。しかし、治療を重視しすぎると、最悪の場合副作用が致命的となることもあるため、エビデンスを基盤にした知識と経験をもって治療と副作用をマネジメントしていくスキルが腫瘍内科医の力量になります。

日々新薬が開発され、化学療法の選択や副作用が複雑化、多様化していく現代の医療において、化学療法の専門知識とマネージメント力を持った腫瘍専門医の存在は必要不可欠になり、私たちはさらなる研鑽を求められています。

3. 癌治療にかかせないチーム医療

癌治療は、主に手術、放射線治療、化学療法の三つに分けられます。今までは手術は外科医、放射線治療は放射線科医、化学療法は各科の先生方が疾患臓器ごとに担当して治療を行うのが通常でした。

現在、化学療法の分野では、薬剤の開発が進み、治療法や副作用の出現が複雑となってきたため、化学療法を専門とする腫瘍内科医のもとで治療を行うことが一般的となりつつあります。

治療が多様化・複雑化してきている中でも、患者さんには、最善の治療を提供しなければなりません。それには外科、放射線科のみならず、各科の先生方との連携とともにコメディカルの方々との連携が必須となります。腫瘍内科医の治療のマネージメント力には、診断時からの各科、各職種の専門知識が最大限に発揮されるためのチーム医療の構築も含まれます。広島で勤務していた時には、治療の中心となる外科医、放射線治療医、そして診断の中心となる放射線診断医、病理医の先生方と合同でのカンファレンスを密に行っておりました。それと同時に、疼痛管理をサポートされる麻酔科医、精神面をサポートされる精神科医・臨床心理士、薬剤の調整、副作用をサポートされる薬剤師、副作用、精神面での管理をサポートされる看護師、ご家族や地域との連携をサポートされるソーシャルワーカーの方々やチームを形成し、週単位でラウンドやカンファレンスを行い、お互いの専門知識を出し合っただけで医療の質をあげる努力を皆で一丸となって進めるための中心的役割を担うよう努力して参りました。また重篤な副作用のマネージメントのためには各診療科の専門知識が必要とされますので、どのタイミングで専門家へコンサルトすべきかを見極める力を養う訓練も日々行って参りました。腫瘍内科医には最善の治療を提供すると同時に、より円滑に、より良い医療を実践するために、チーム医療の架け橋になる役割もあるということをいつも心に留めておかなければならないと思っております。

4. 最後に

世界で最も効果があり最善の治療とされる標準治療の確立は、基礎研究や臨床研究を通じて行われます。よりよい腫瘍内科医になるためには、臨床現場での訓練とともに、基礎研究や臨床研究を実際に行うことで治療法が作り上げられていく長い過程、その生みの苦しみや楽しさを経験していくことも大切であるということ、現在の留学での臨床研究の場で深く実感しております。与えられたこの機会をしっかりと生かして、日本の癌治療に貢献できるよう学んで帰国したいという思いを強くしているこの頃です。

今回は聖路加国際病院乳腺外科の松田直子先生です。現在、MD Anderson 乳腺腫瘍科で同じpostdoctoral fellowとしてご一緒させて頂いております。このたびの留学を通じてお知り合いになりました。研究や日々の生活のことなどを相談できる女性の先生が近くにいらっしゃることは心強い限りです。とても明るくて活動的な先生です。愛媛県ご出身で広島とも近く、地元の話で盛り上がることもあります。これから日本人会の行事にも一緒に参加させて頂くこともあるかと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

「こどもの日」のイベント開催



5月7日(木)、今年もショーイングジャパンの皆様にご協力いただき、5回目となるTexas Children's Hospitalでの「こどもの日」イベントを開催しました。今までは午後の開催でしたが、今回は午前10時半から1時までとし、まず病院16階の図書館でイベントの火口を切りました。

入院患者さんにとって、10時半は時間が少し早いかもしれないという心配は杞憂に終わり、会場準備がまだ完全に整わないうちに、保護者や看護師さんに付き添われた入院患者さんたちが次々と来場しました。そしてテーブルにつくと早速、金太郎の塗り絵や折り紙のこいのぼりや兜作りに取りかかりました。

あたふたと準備をしながら折り紙を教えているうちに、ショーイングジャパンの折り紙部隊が到着し、3つの丸テーブルで子どもの日特製折り紙クラフトがフル稼働。

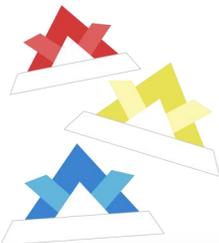
やがて来場者もひと段落し、みんなが折り紙をいくつか作り終わった頃、紙芝居「桃太郎」を上演しました。日本のスーパーヒーローの活躍に、観客は大喜びでした。

紙芝居の後は、お待ちかねショーイングジャパンによる日本舞踊。「京踊り」「三味線ブギ」に続き、最後の「こいのぼり」は、簡単な振付けを教えて、観客も一緒に踊りました。これで図書館でのイベントは終了し、日本舞踊公演のために1階ロビーへ移動しました。

通常、1階ロビーは来院者であふれ、過去2回はたくさんの人達に踊りを見ていただいたのですが、今年はなぜかロビーが空っぽ。しかし踊っているうちに、足を止めて踊りを見ている人も増えてきました。こちらでの演目も三曲。「京踊り」「三味線ブギ」、そして最後の「花笠音頭」では、折り紙部隊の皆さんも踊り子として急遽参加。華やかに幕を閉じました。

今回は、いつもより入院患者さんの参加が多くにぎやかでした。短い時間でも、このようなイベントは入院中の子ども達を慰め、元気付けています。お忙しい中、しかも遠いところを、子ども達のために来てくださったショーイングジャパンのメンバーの皆様、本当にありがとうございました。来年もまたよろしく願いいたします。

(文責：総領事館)



ピーカンキッズ活動報告

～あそぼーかい～

ヒューストンは、東の間の過ごし易い季節になりました。そんな5月5日(火)と5月9日(土)に、あそぼーかいが開催されました。5日は、こどもの日にちなんで、小さいけれど元気で勇気のある男の子のお話「いっすんぼうし」のパペットシアターを披露しました。身体遊びでは「こいのぼり」の音楽でお遊戯をしました。そして工作では、新聞紙で兜をお母さんと一緒に折りました。出来上がった兜を被ると、かわいい武者になりましたね。9日は次の日が母の日なので、プログラム内容を一部変えました。身体遊びでは「かたたたき」の音楽に合わせて、お母さんと肩たたきをしました。工作は、肩たたき券とお手伝い券のぬりえです。思い思いに色を塗り、カラフルで素敵なチケットが出来上がりました。母の



日には、「いつもありがとう」の言葉を添えたプレゼントが出来たかな。でも、お母さんがいちばん嬉しいのは、みんながいつも元気でいてくれる事ですね。今月もあそぼーかい、楽しんでいただけたでしょうか。

あそぼーかいでは、毎月季節のものを題材にとり上げて、この異国の地で、日本に昔から伝わるお話や歌、遊びを子ども達に受け継いでいこうと考えています。6月から8月いっぱい夏休みでお休みしますが、9月からまた盛りだくさんの企画で、みなさんをお待ちしています。どうぞお友達を誘って遊びにいらして下さい。



ピーカンキッズ今後の開催予定

＜あそぼーかい＞

6月7月8月はお休み
9月11日(金) 9時30分～
9月12日(土) 10時30分～



＜読み聞かせの会＞

6月7月8月はお休み
9月5日(土) 9時30分 三歳以上を対象とした絵本
10時00分 三歳未満を対象とした絵本

変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターや、コミュニティーサイトのヒューストンなび(hounavi.us)でもご確認ください。

スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡下さい。お待ちしております。

あそぼーかい
mama.asobokai@gmail.com
読み聞かせの会
houstonyomikikase@yahoo.co.jp





ーハリケーンに備えてー

テキサス州において大規模災害として想定されるものにハリケーンがあります。連邦緊急事態管理庁(Federal Emergency Management Agency, FEMA)等によれば、ハリケーン・シーズンは6月1日から11月30日となっており、昨年(2014年)は、暴風雨を伴う熱帯性低気圧は8回、そのうちカテゴリ1及び2のハリケーン(風速74マイル以上110マイル以下)が6回、カテゴリ3から5の大規模ハリケーン(風速111マイル以上157マイル以下)が2回発生しました。

2015年については、気象関係機関・研究所等が4月頃から予想を発表しており、それによると、暴風雨を伴う熱帯性低気圧は7~9回、そのうちカテゴリ1及び2のハリケーンは3~5回、大規模ハリケーンは1~2回発生する可能性があるとのこと。ハリケーン・シーズンの中で、テキサス州沿岸部等へのハリケーン到来は8月から9月が最も多いとされています(5月や12月にも2%程度発生しています。)

幸いにして、ここ数年、当地はハリケーンの直撃を受けていませんが、2008年9月にハリケーン・アイクがテキサスに襲来したときの被害についてはご記憶の方もおられると思います。

ハリケーン対策については、日頃からの準備がとても重要です。米国気象局(National Weather Service)は、5月24日から30日を「ハリケーン準備週間」として、現在、準備すべき内容について紹介しています(<http://www.nhc.noaa.gov/prepare/>)。また、当館ホームページ(<http://www.houston.us.emb-japan.go.jp/jp/info/page2-2.htm>)では、ハリケーン対策マニュアルやハリケーン関連情報入手先の案内をしています。ハリケーン・シーズン到来前にぜひ一度ご確認ください。そして万一の時には、当館までご連絡ください。

ハリケーン対策グッズ・リスト



ハリケーン対策の一環として準備しておくことよい防災グッズの一例をご紹介します。
ご家族の状況に応じて、以下例をご参考の上、ハリケーンに備えて事前に準備されることをお勧めします。
(◎は必需品、○は可能であれば準備をお勧めするもの、△はあると便利というものです。)

項目	留意点等	項目	留意点等
<input type="checkbox"/> ◎飲水	通常一人当たり1日1ガロン7日分以上を準備。	<input type="checkbox"/> ○現金	カード・ATM が使えない場合あり。できるだけ小額の現金を準備。
<input type="checkbox"/> ◎衛生用水	トイレ、シャワー用。バスタブ等を利用して貯水。	<input type="checkbox"/> ○衛生用品	【例】トイレトイレットペーパー、ウエットティッシュ、石鹸、消毒用アルコール、洗剤、生理用品、洗面用品(歯ブラシ、シャンプー、洗顔用品等)、マスク、ふた付きバケツ、ゴミ袋、ビニール袋等
<input type="checkbox"/> ◎食料	保存可能な食料を人数分×7日分以上準備。 【例】パン、各種缶詰(肉、野菜、フルーツ等)、スープ類、ドライフルーツ、ナッツ類、ゼリー、飲物、高カロリー食品、冷蔵を要さない野菜、調味料等	<input type="checkbox"/> △扇風機	電池式のもの。
<input type="checkbox"/> ◎懐中電灯	一人1つ準備が望ましい。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △コンパス	避難時に使用。
<input type="checkbox"/> ◎携帯ラジオ等	携帯テレビも有用。予備電池を準備。	<input type="checkbox"/> △ドライアイス	保存が効き、冷蔵に使用可能。
<input type="checkbox"/> ◎救急医療品	【例】各種サイズの絆創膏、安全ピン、ゴム手袋、ガーゼ、三角巾、包帯、はさみ、ピンセット、針、ウエットティッシュ、消毒剤、体温計等	<input type="checkbox"/> △チューブテント	家が倒壊した場合、避難先等で利用可能。
<input type="checkbox"/> ◎ガソリン	車のガソリンは常時3分の2以上入れておく。	<input type="checkbox"/> △処方箋	必要であれば、避難前に薬局等で処方箋を書いてもらう。
<input type="checkbox"/> ◎重要文書一式	重要文書は直ぐに持ち出せるように準備。 【例】旅券、保険証書、出生・結婚証明書等。	<input type="checkbox"/> △消火器	小型のものが望ましい。
<input type="checkbox"/> ○食器類等	箸、紙皿、紙コップ、プラスチック容器等。	その他 (各ご家庭の事情に応じて)	赤ちゃん用の乳幼児用食品(ミルク等)、おむつ、赤ちゃん用の薬 ペット用の水、食料、ケージ等
<input type="checkbox"/> ○調理器具	携帯ガスコンロと燃料、缶切り、ナイフ等。		
<input type="checkbox"/> ○寝具等	寝袋、エアマット、毛布、タオル等。		
<input type="checkbox"/> ○常備薬	使い慣れた薬(頭痛薬、風邪薬等)		
<input type="checkbox"/> ○マッチ・ロウソク	防水用の缶等で保管すること。		
<input type="checkbox"/> ○食器類等	箸、紙皿、紙コップ、プラスチック容器等。		
<input type="checkbox"/> ○工具	【例】ペンチ、テープ、アルミホイール、ソーイングセット、スパナ、ペン、紙等		
<input type="checkbox"/> ○衣類	着替え以外にも、予備の靴、長靴、雨具等も準備しておくことよい。		

【緊急連絡先】
ご家族の緊急連絡先をご記入ください。

●在ヒューストン日本領事館 TEL: 713-652-2977 FAX: 713-651-7822
大城領事(携帯)713-501-5074



© Kumiko

Houston Walker

Freedom over Texas at Eleanor Tinsley Park \$8 per person; Under 5 free Houston will set the stage for an extraordinary patriotic celebration at Mayor Annise Parker's official Fourth of July event, Freedom Over Texas. <http://www.houstontx.gov/july4/>

The Katy Freedom Celebration at Katy Mills Mall: 9:30pm on July 4. Free event: The Katy Freedom Celebration fireworks display will be launched between the east side of the mall and Katy Fort Bend Road. This display begins at approximately 9:30pm and can be viewed from several miles around the mall area. <http://cityofkaty.com/departments/parks/special-events/>

Fourth of July Music & Fireworks: CityCentre: July 3-6. 6:30pm. FREE. Mark your calendar for what's become one of the season's most explosive summer nights - the Fourth of July at CITYCENTRE! The Texas Unlimited Band kicks off the fun at 6:30pm and the fireworks spectacular begins at 9:30pm. <http://citycentrehouston.com/events/detail/july-fourth-weekend-celebration>

Ringling Bros. and Barnum & Bailey Circus at Reliant Stadium on July 9-26: Master clown Bello and his hilarious antics, plus Asian elephants, acrobats, Arabian horses and much more will delight audiences. See the official website at: <http://www.ringling.com/>

ExxonMobil Summer Symphony Nights: Star-Spangled Salute Miller Outdoor Theatre. July 4. 8:30pm. FREE. Enjoy an evening with the Houston Symphony and conductor, Michael Krajewski as they play patriotic classics. Joining them on stage will be Jonathan Beedle and AJ Swearingen performing music of Simon & Garfunkel. <http://milleroutdoortheatre.com/events/504/>

Red, Hot, and Blue Festival at Woodlands Town Center between: July 4th. The fire work starts at 6pm to 10pm. The festivities kick off at 9:00 am with a parade featuring clowns, horses and fire engines, and end at dusk with a 20 minute fireworks show. Free event: see at <http://woodlandsevents.com/things-to-do/events/annual/july-4th-the-woodlands>

三水会センター休館及び図書返却日一部変更のお知らせ

独立記念日ホリデーのため三水会センター(図書館、商工会及び補習校事務局)は下記日程で休館いたします。なお、休館に伴い図書返却日が一部変更されます。貸出日から2週間先の返却日が休館期間に該当する場合は3週間の貸出となります。

(例:貸出日:6月16日 返却日:7月7日)

休館期間:2015年6月29日(月)~7月4日(土)

編集後記

5月は、2日(土)に補習校小学部6年生のホロコースト博物館見学、5日(火)・9日(土)に'ピーカンキッズあそぼーかい'、7日(木)にテキサス・チルドレンズ・ホスピタルでの「子どもの日」イベントや、10日(日)にはヒューストン日本商工会・日本人会共催のピクニックが好天の中、Jones Creek Ranchで行われました。それぞれ、楽しかったり、勉強になったりなど、その時の様子が今号の記事や写真で紹介されています。また、16日(土)には第2回宇宙セミナーがヒューストン日本語補習校オーデトリウムで行われ、JAXA金井宣茂宇宙飛行士に講演いただきました。こちらの様子は、7月号にてご紹介する予定となっています。

今号ではガルフストリームで約5年27回にわたる長期の連載となった'ワン!ダフル ヒューストン'が最終回となっています。長期の連載、また、ご帰国直後のお忙しい時期にご執筆いただいた川原様、本当にありがとうございました。

そのほか、リンドン・B・ジョンソン道徳的勇気賞授与式やヒューストンパレエ祝賀レセプションの様子を伝える記事やアレルギーの話など多彩な紙面となっています。

この3月末からのヒューストン生活で私は意外と天候不順な日もあるなど感じていましたが、周りの方に例年ない状況と教えていただきました。そんな中、25日(月)の'Memorial Day'にかかる週末では、雷雨の影響などで、洪水、停電、交通混乱とあり、特に26日(火)は大きな洪水の影響で大変な思いをされた方もいたかと思ひます。今号には総領事館からハリケーン対策グッズ情報などを掲載いただきました。いざという時の備えがやはり大切だと痛感し、私も参考にしたいと思ひました。また、テキサスメディカルセンター最前線では、腫瘍内科の役割についてご紹介いただいています。その仕事への取り組み姿勢なども私は参考になりました。

今号から、前任の白木秀明を引きついで、ガルフストリームに関わらせていただくことになりました佐藤です。ヒューストン生活をパワフルに楽しんでいらっしゃる皆様の様子、商工会活動情報等を、編集委員の方たちとともに伝えていけたらと思ひます。引き続き、「ガルフストリーム」を宜しくお願ひ申し上げます。

(佐藤大地)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発行 : ヒューストン日本商工会
発行責任者 : 高杉 禎
編集委員長 : 佐藤 大地
構成・編集 : 岡野真弓/前田正子/鍵富雅紀
印刷 : Sel-Fast Printing Copies & Laminating (713) 782-2000